

三多摩青年合唱団

創立60周年記念音楽会

東日本大震災復興支援第13弾

自由の木

Tree of Freedom

2024年10月26日(土) 15時30分開場
16時開演
パルテノン多摩 大ホール

一九七六年三月から始まった

林光さんと私たちの八ヶ月。

林さんが小脇に抱えて持って来た七つの歌。

アップライトのピアノを弾きながら

林さんが歌う。

あれから「自由の木」は

私たちと共に時を重ねてきた



プログラム

STAGE I ~さんゆう会とともに~

指揮……………佐藤伸行
 ピアノ……………峯崎道子
 アコーデオン…岡原真弓
 ギター……………倉本 至
 ベース……………三浦明夫

君は生きているか	石原いっき 作詞・曲	青山義久 編曲
歌って愛して	横井久美子 作詞・曲	青山義久 編曲

STAGE II

指揮……………大塚雅仁
 ピアノ……………峯崎道子

ベルトルト・ブレヒト 原詩 林光 作曲	
すべてか無か	岩淵達治・林光 訳詞
欠陥	野村修 訳詞
謝肉祭の行列	浅野利昭 訳詞

STAGE III ~特別団員とともに~

指揮……………赤坂有紀
 ピアノ……………笹有理子

混声合唱による さだまさし作品集「北の国から」より			
天までとどけ	さだまさし 作詞・曲	松下耕 編曲	
合唱組曲「空に小鳥がいなくなった日」より			
私が歌う理由	谷川俊太郎 作詩	外山雄三 作曲	
風に吹かれて	BOB DYLAN 作詞・曲	桑田佳祐 訳詞	竹内一樹 編曲 (編曲委嘱初演)

STAGE IV 合同音楽会

指揮……………赤坂有紀
 ピアノ……………寺嶋陸也
 ナビゲーター…岡原真弓

自由の木	パブロ・ネルーダ原詩	林光 訳詞	林光 作曲	(1976年委嘱初演)
雨よ降れ		谷川俊太郎 作詩	林光 作曲	(2004年委嘱初演)
混声合唱のための宮崎駿アニメ編曲集より		Jean-Baptiste Clément 作詞	Antoine Renard 作曲	
さくらんぼの実る頃		寺嶋陸也 編曲	三多摩青年合唱団 訳詞	(2005年編曲委嘱初演)
混声合唱とピアノのための「ふるさとの風に」より				
三ツ星さん		竹内浩三 作詩	寺嶋陸也 作曲	(2005年委嘱初演)
混声合唱とピアノのための「信じる」より				
信じる		谷川俊太郎 作詩	松下耕 作曲	(2006年委嘱初演)
合唱のための6つのソング「ワクワク」より				
風のマーチ		谷川俊太郎 作詩	信長貴富 作曲	(2014年委嘱初演)
混声合唱とピアノのためのカンタータ「風の旅」より		ドリアン助川 作詩	寺嶋陸也 作曲	
第7楽章			寺嶋陸也 (2022年委嘱初演)	
いっぱんの白樺のように		堤 江実 作詩	寺嶋陸也 作曲	(2024年合唱編曲委嘱初演)

ごあいさつ

本日は三多摩青年合唱団創立60周年記念音楽会にご来場くださり、誠にありがとうございます。
三多摩青年合唱団『三青』は1963年3月31日に創立し、昨年2023年に60周年を迎えました。

この60周年を迎えるにあたり、団員の中で何度も話し合いを重ねました。

「盛大にレセプションをしたい」との声もありましたが、その頃は、まだコロナで世の中が落ち着かない時でもあり、「60周年を記念誌として残そう」ということになりました。

記念誌作成にあたり、古い写真を引っ張り出し、記念誌に寄せられた数々の文章に目を通しながら三青の辿ってきた道のりを感じました。ここには私の知らない時代の『三青』と、ちょっと破天荒で愛すべき先人たちの生き生きとした姿がありました。

そして、今までの演奏会のプログラムを遡り、多くの専門家と綴ってきた歴史とバラエティに富んだ歌に驚かされました。

「誰もやったことのないことを!」を模索し、平和のこと、震災の復興支援活動、環境の問題などに関わり続けた三青の歴史は、その時代の歌にも表れています。

ここからの私たちに「さあ、これから何をやりたい?」「何をしなければいけないのか?」と、問いかけている気がします。

合唱団と共に年を重ね、これからも『青年合唱団』の名前に恥じないよう、新しいものを生み出し進んで行く『三多摩青年合唱団』であり続けたいと思っております。

本日この場にいらしてくださった多くみなさまに感謝し、私たちの精一杯の演奏をお聴かせしたいと思っております。

三多摩青年合唱団 団長
竹澤まみ

60周年へ向けて1年程前から団員皆さんと団の歩みや生まれた曲の数々を見渡すことを進めてきました。現在も進行形ですが、音楽・歌と世の中との関わりを考え深める時間となっています。

本日指揮には日頃音楽スタッフとして奮闘してくれている大塚雅仁さん、佐藤伸行さんにも登場頂き、それぞれお楽しみ頂けることと存じます。

合唱団とは初顔合わせ、私の合唱仲間でもある竹内一樹さん編曲初演も嬉しい限りです。こんにやく座歌役者の岡原真弓さんも彩りを添えてくださいます。

そして、これまでも数多くの場面で我々を引き上げてくださった寺嶋陸也さんと今回もご一緒出来るのは幸甚の至りです。メゾ・ソプラノ保多由子さん初演の歌曲に心を射抜かれ、合唱版へとお願いした曲をお披露目します。

三多摩青年合唱団の長きに渡る活動に関わってこられた全ての方々へ心からの敬意を、そして益々歌の力を信じ演奏へ繋げていきたいと思っております。

常任指揮者
赤坂有紀

プログラム・ノート

STAGE

君は生きているか

I

石原いっき作詞・曲 青山義久編曲

1974年5月に自主制作したミュージカル「ヒステリータイムス」のテーマ曲。自動車工場に就職した若者がきつい三交代勤務で亡くなり、会社の冷たい仕打ちに対し仲間たちが立ち上がろうとするが、もどかしい現実に挫折していく。職場での実話をもとに、多くの専門家の力を借りながら3年がかりで制作。涙あり笑いあり踊りありのミュージカルは大きな話題となる。立川市民会館（現たましんRISURUホール）で初演。その後中野サンブラザ、読売ホール（現有楽町よみうりホール）など都内で全8公演を行った。

高杉昌雄

歌って愛して

横井久美子作詞・曲 青山義久編曲

1979年、横井久美子（1944年～2021年）の10周年記念コンサート『横井久美子10年をうたう「読売ホール（現有楽町よみうりホール）／名古屋中小企業センター」』のエンディング曲として創られた。それ以来、横井久美子はこの歌をうたうことで自分自身を励ましてきた。また、三多摩青年合唱団の愛唱歌にもなっている。彼女の35周年記念には、英詩Sing the Love, Love the Song（Translated by Nomugi TOMOYORI, Justin DAME）が発表された。

木村洋

STAGE

II

ベルトルト・ブレヒト原詩 林光作曲

すべてか無か

岩淵達治・林光訳詞

ブレヒトの劇「コミュニンの日々」のなかの合唱。《ウソは血で画かなくてはならないが、真理はペンで画ける》と、暴力を用いることを拒んだために、絶体絶命に追いつめられたパリ・コミュニンの代議員たちは、降服するより真理をつらぬいて死ぬまでたたかうことを決議する。

政府軍に包囲されたパリ・コミュニンの戦士たちは政府側の人質を「処刑しない」ことを決議したのち、武器を手にする。そして、観客に向かって、しずかに呼びかける。明日ではなく今日、立ち上がろう、と。

林光（1976年合唱団特別音楽会ライブ録音のレコードのアルバムノーツより）

欠陥

野村修訳詞

ベルトルト・ブレヒトの、第二次世界大戦直前に書かれた「ドイツ戦争案内」のなかの一節にもとづいている。《考える》ことができるのは、もちろん人間のすぐれた能力なのだが、それを、人間を殺人機械の部品として用いようとする《将軍》の立場に立ってわざと《欠陥》と名付ける、ブレヒト流の皮肉が笑わせる。ブレヒトにとって、《将軍》はヒトラーやフランコだったが、私たちの世界にも、将軍はまだ生きつづけている。

林光（1976年合唱団特別音楽会ライブ録音のレコードのアルバムノーツより）

謝肉祭の行列

浅野利昭訳詞

ブレヒトの戯曲「ガリレイの生涯」の劇中歌。イタリアのある都市の広場で開かれている1632年の謝肉祭（カーニバル）で子連れの大道具の夫婦がフィレンツェで流行している歌を歌う。法王庁がコペルニクスの本を禁書にしても、地球が太陽の周りを回っているという聖書の教えに反する「地動説」が、おえらがたの苦い顔を尻目に、市民たちのあいだにひろがって行く。

小林信一

混声合唱による さだまさし作品集「北の国から」より 天までとどけ

さだまさし作詞・曲 松下 耕編曲

1979年1月から3月に放映されたテレビドラマ「時よ燃えて!」の主題歌として使われた。うつのみやレディースシンガーズ晶くAKIRA>が女声合唱として松下耕に編曲委嘱し、女声合唱によるさだまさし名曲集「北の国から」として出版されたなかの1曲。栗山文昭指揮で1996年初演された。「合唱団LINC」が、混声合唱として松下耕に編曲委嘱したさだまさしのナンバー6曲のうちの1曲。2001年に初演され、2002年に全曲が初演された。

結城朝三

合唱組曲「空に小鳥がいなくなった日」より 私が歌う理由

谷川俊太郎作詩 外山雄三作曲

谷川俊太郎の詩に三善晃・林光・大中恩他も作曲している。三善晃は「ひとがなぜ歌おうとするのかについては、谷川俊太郎の詩『私が歌う理由』が鮮やかに答えている」とCD『いのちのうた』のブックレットに書いている。「仔猫」「けやき」「子ども」「おとこ」と生あるものが悲惨な目にあって生命をうしなっていく…様々な絶望感におそわれながら願わずにはいられない。私が歌う理由はここにある。昨年5月に92歳でお亡くなりになった外山雄三氏へ追悼の意を込めて歌います。

峯崎りみ

風に吹かれて

BOB DYLAN 作詞・曲 桑田佳祐訳詞 竹内一樹編曲（編曲委嘱初演）

ノーベル文学賞を受賞したボブ・ディランが1962年に作詞作曲。ディランはこの曲の背景について「僕は今でも最も大きな犯罪のひとつは、不正を目前にしてそれが不正であると判っていても目を背けてしまう人々が存在する事だと思う。僕はまだ21歳だが、今までも多くの戦争があったことを知っている…。21歳以上の貴方達は僕以上によく判っている筈だ」と語っている。今回歌う詞は、桑田佳祐が2022年6月21日に発表したもの。

小林信一



自由の木

パブロ・ネルーダ原詩 林光訳詞 林光作曲 (1976年委嘱初演)

チリの詩人パブロ・ネルーダの詩「解放者たち」の一節にもとづいている。「自由の木」「チェ・コマダンテ」「夜明けの愛の歌」「灼ける渴き」「告別」「欠陥」「いつ?」に至る7曲のなかでうたわれている、またうたっている有名無名の人びとすべてが《自由の木》にのみり、あるいは熟れて地にかえっていった《種子》とかがえられることから第一曲目におかれた。

林光(1976年合唱団特別音楽会ライブ録音のレコードのアルバムノーツより)

雨よ降れ

谷川俊太郎作詩 林光作曲 (2004年委嘱初演)

詩は、谷川俊太郎がベトナム戦争渦中の1969年11月上條恒彦のデビュー・シングルのために作ったもので 作曲は寺島尚彦。曲はナバーム弾を使用しないことになっていたアメリカ軍が2003年イラク戦争ではナバーム以上の破壊力を持つMark77爆弾を使いイラク軍を攻撃したことに怒り、林光が作曲。2004年6月19日三多摩青年合唱団創立40周年記念音楽会「生命の木、空へ」で委嘱初演された。

小林信一

混声合唱のための宮崎駿アニメ編曲集より (2005年編曲委嘱初演)

さくらんぼの実る頃

Jean-Baptiste Clément 作詞 Antoine Renard 作曲 寺嶋陸也編曲 三多摩青年合唱団訳詞

もともとは、仏の銅工職人クレマンが1866年作詞し発表された、さくらんぼの実る頃の儂い恋と失恋の悲しみを歌った曲だった。1871年「パリ・コミュン」の国民軍に参加したクレマンは、パリ・コミュン敗北後に国民軍のバリケードに加わり、他の多くの市民とともに戦闘の犠牲になった看護師ルイズに捧げる歌詞を加えた。その後この歌は恋の歌からコミュン参加者への追悼の歌へと変わった。

小林信一

混声合唱とピアノのための「ふるさとの風に」より(2005年委嘱初演)

三ツ星さん

竹内浩三作詩 寺嶋陸也作曲

1921年宇治山田に生まれ、1945年4月9日、斬り込み隊員として向かったフィリピンで戦死した竹内浩三は、有名な「骨のうたう」や「日本が見えない」などの詩だけでなく、小説やシナリオ、漫画にいたるまでさまざまな創作を残している。その中で、数の上では決して多いとはいえない詩のほとんどは、強い感受性によって捉えられた世界を新鮮に歌っているものである。

寺嶋陸也(2005年初演プログラムノートより抜粋)

2005年被爆・戦後60年の年、「三ツ星さん」を含めた6曲を、組曲『ふるさとの風に』として委嘱初演。2010年被爆・戦後65年の年には、第7曲「骨のうたう」を加えて完結版が演奏された。

上村明子

混声合唱とピアノのための「信じる」より(2006年委嘱初演)

信じる

谷川俊太郎作詩 松下耕作曲

2004年、イラク戦争の頃、危険をおかしてまでイラクの人たちに尽くそうとした市民活動家の高遠菜穂子他4人が人質になった。この事件を受けて国やマスコミのバッシングは酷く自己責任論が飛び交い彼らを孤立させていった。そんな時、中学校の部課題曲で混声三部合唱「信じる」を聴き、共感し、混声四部合唱に編曲委嘱と同時に組曲として2006年に委嘱し初演した。

谷川俊太郎は「信じる、ということは理屈ではないのです。なぜ信じるか、ではなく、信じる、信じたいという感覚を持たねばならない」と。

峯崎りみ

合唱のための6つのソング「ワクワク」より(2014年委嘱初演)

風のマーチ

谷川俊太郎作詩 信長貴富作曲

東日本大震災後、復興支援としてのカワイ出版「歌おうNIPPON」プロジェクトのためにその2011年の夏「ワクワク」が作曲された。信長貴富は「震災直後当時の“すべて自粛”のようなムードから脱したいという気持ちがあり、この詩を選んで作曲した」と。合唱団は、創立50周年記念コンサートに向けて「ワクワク」を含んでのワンステージをと依頼した。そして2014年、谷川俊太郎の詩による「合唱のための6つのソング、ワクワク」が誕生、演出付きでの初演となった。その10年後の60周年に選ばれた第5曲「風のマーチ」は、このコンサートに吹き渡る「風」と呼応する。

上村明子

混声合唱とピアノのためのカンタータ「風の旅」より(2022年委嘱初演)

第7楽章

ドリアン助川作詩 寺嶋陸也作曲

書きおろされたドリアンさんの詩は、現代のさまざまな問題を含み、時間的にも空間的にも広さと深さを併せもつ壮大な詩ですが、大きな声で正義をふりかざしたり悪を告発したりというものではありません。些細な日常から宇宙の果てにまで向けられるその眼差しは、現状を見つめることに徹しているのですが、冷たいのではなく、なんと暖かい優しさに満ちていることでしょうか。全部で7篇からなる連作詩をそのまま7つの楽章として作曲し、組曲よりももっと全体に強い繋がりのあるひとつの大きな合唱曲、という意味あい「カンタータ」と名付けました。オペラ《あん》よりも前の2020年の3月から4月初旬にかけて作曲しましたが、それはちょうど世界中で新型コロナが猛威をふるい始めた時期でした。

寺嶋陸也(2022年初演プログラム・ノートより抜粋)

いっぼんの白樺のように

堤 江実作詩 寺嶋陸也作曲 (2024年合唱編曲委嘱初演)

メゾソプラノの保多由子さんのリサイタルのために作曲した歌曲を、初演を聴いた三多摩青年合唱団のメンバーからのリクエストで混声合唱用にアレンジしました。

詩人の堤江実さんとは、「うたごえ」の活動を通して知り合い、これまでに、関西合唱団の依頼で『手をとろう』(5曲)と、合唱指揮者片山みゆきさんの主宰する「うたびと“風”のつどい」の依頼で『いのちの海』(9曲)という二つの曲集を作曲しました。もともとアナウンサーをなさっていただけあって、耳で聞いてわかりやすく、やさしくしかも力強い言葉で、確かなメッセージをもった詩をお書きになっていましたが、残念ながら2020年にお亡くなりになりました。

白樺の木が枝や葉を繁らせながら伸びてゆくように、いろんな方向に寄り道をしながらも、目指す方向へと伸び、下には根を張ってゆく、そんな存在でありたいという詩人の願いを、これからも受け止めて活動を続けたいと思っています。

寺嶋陸也

いっぼんの白樺のように

詩 堤 江実

私の足のうらは
地球のいちばん深いところにつながっています

私のあたまのてっぺんは
宇宙のいちばん遠いところにつながっています

そうして
私は

いっぼんの若い白樺の木のように

宙(そら)と地のあいだに
まっすぐに
ふわりと立って

さやさやと風に葉末をゆらしながら

私のうたを
うたっていよう

日本著作権協会(出)許諾第2407783-401号



Words of congratulations

合唱団創立60周年記念誌のためにたくさんの方々からお祝いのメッセージをいただきました。
その中から一部ご紹介をさせていただきます。(掲載は五十音順)

朝間義隆(脚本家・映画監督)

「カルメン」(1977年)の合同稽古のとき、初めて合唱というものを聴き、ただびっくりした。

人々が集って声をそろえて歌うと、こんなにも豊かで温かくて強い力を持てるものなのかー。それが、みなさん(の先輩?)との出会いだった。

「たたかわなかった兵士の話」(1981年)では、ましてや私の書いた文に音楽がつけられ、合唱と

なって私のところに返ってくるのだから、どんなにわくわく待ったことだろう。

二つの公演とも時間に追いかけられ、私自身の能力もあって苦戦した仕事だったが、合唱を聴くのが楽しくて続けられた。

この度、三多摩青年合唱団が創立60周年を迎えると知り、そのときのことを懐かしく思い返す。

お祝いのメッセージ

伊東達也(ノーモア・フクシマいわき市民訴訟原告団長)

三多摩青年合唱団 60周年の歴史に心からのお祝いを申し上げます。

2011年3月11日、巨大地震発生を引き金にして東電福島第一原発が苛酷事故を起こし、200万県民が恐怖のどん底につき落とされました。その後、命と健康を守るために20万人以上の県民が全国各地に避難せざるを得なくなり、空前絶後の深刻な事態となりました。

この混乱が続く2014年8月に全町民が避難を命ぜられた楢葉町町民が多く住むいわき市に、三多摩青年合唱団の皆様に来ていただき避難者住宅内の集会場で歌声集会を開いていただきまし

た。見知らぬ町に避難されてきた皆さんが日ごろの苦しみを忘れたかのように一緒に歌いました。その後の交流会で「3年ぶりに初めて大きい声を出すことが出来た」と喜びを語った言葉が今でも忘れられません。以来、2015年、16年 17年と4度にわたり被災地に来ていただき大きな支援をいただけてきました。

この度、合唱団の誕生が1963年であることを知り、激動が続く60年間の活動に連帯の喜びを表明すると同時に、今後の一層の活動を心から願っています。

60周年に寄せて

寺嶋陸也(作曲家・ピアニスト)

60周年おめでとうございます。私も今年60歳になりましたので、共に同じ時代を生きているという実感があります。けれどもそれは、単に歳が近い、という実感ではなく、今まで何度となく共演し、あるいは新しい曲と一緒に作りながら、音楽を通して社会を見つめ数々の問題意識を共有しているという実感です。

初めて皆さんの演奏を聴いたのは高校生の頃で、横井久美子さんと林光さんが出演した演奏会でした。ずっとあとになって、栗山文昭さん指揮の《砂川》や、林光さんが指揮の《生命の木、空へ》でピアノを弾くなど共演の機会ができ、ついに敗戦60年の2005年に、竹内浩三の詩による《ふるさとの風に》を作曲する機会をいただきました。それからは、被爆・敗戦の5年の節目の年ごとに新しい曲

を書かせていただきながら、ときにはこちらからもお願いしてピアノや指揮と一緒に演奏を重ねてきました。

近年では栗山門下の盟友、赤坂有紀さんが指揮者となったことも嬉しく、2020年作曲のドリアン助川さん作詞の《風の旅》では、合唱曲としてあるべきと信ずる信念を曲げず技術的な妥協もしない曲を思いきり書かせていただいたので、つい無理をお願いしているかもしれず、もしかしたらそのために離れていってしまう団員がいたりはしないかと心配もしていますが、60年活動しつづけてきた三多摩青年合唱団の現在の活動と存在意義を強く肯定していますので、やはり安易な妥協はなしで、しかしこれからも共に音楽で生きていく仲間でありたいと願っています。

輝く森

ドリアン助川(作家・詩人・歌手)

合唱は歌声の森だ。ブナやミズナラの煌めきのごとく、一人ずつの声が千々の光となって、聴く者と歌う者すべての魂を包む。合唱は同時に、人間の森でもある。芸術はなにかのための道具ではなく、それ自体が輝くためにある。とはいえ、世相や時代背景、社会の悲喜こももどと隔絶された真空内で花開く歌はない。

三多摩青年合唱団から戦後75年を総括した合唱作品が欲しいとの依頼を受け、長編詩『風の旅』を書き下ろした。遠い原始の地球から、日々休むことなく巡り続けてきた風。大気を循環させ、種子を運び、無数の命を繋いできた透明な手が、昨今では放射性物質を撒き散らす風となった。風に言葉があるなら、その運命をどう語るだろうか。

作曲家の寺嶋陸也さんが春夏秋冬の空を彷彿とさせる力強い合唱曲に仕上げてください、2022年10月30日、三多摩青年合唱団はルネこだいらにて『風の旅』を初めて歌い上げた。私も満員の観客の

一人になり、合唱団の歌声を全身で受け止めた。

丘巻、の一語に尽きた。ヒマラヤの山峰やモロッコの砂漠、大都市の摩天楼をも吹き抜けてきた風が、慟哭と希望の双方を以って三多摩青年合唱団の内外を巡ったステージであった。今を生きる者の芸術であり、真っ向から風を受けた森の出現であった。

その後、明治学院大学のレクチャー・コンサートでも『風の旅』全編を歌っていただいた。感動は再びやってきた。聴くたびにこちらの命までもが刷新される歌声の森である。

人間としての主張があり、芸術としての純粋な力にも溢れる合唱。貴重な表現活動を続けられてきた三多摩青年合唱団には、これからの日々も輝く森であって欲しいと願う。

60周年、おめでとうございます。

信長貴富(作曲家)

三多摩青年合唱団とのお付き合いは、2014年初演の「合唱のための6つのソング《ワクワク》」や、2019年の「混声合唱曲集《あれは風だったのですか》」の再演などが思い起こされます。《ワクワク》の表題曲は東日本大震災からの復興支援がきっかけで作曲したものでしたし、《あれは風だったのですか》は平和への祈りと反戦を訴えた曲集でした。

三多摩青年合唱団はいつも、その時代とともにある歌を取り上げてくださいます。私の仕事も、時代とともにありたいと念じており、その願いは合唱団

の志と重なっている、と勝手ながら思っています。

一方で、歌い続けても、祈り続けても、世界が理想と逆の方に向かってしまうという現実があります。しかし、連帯の音は地中で密かに結び合っている、そう信じます。いま、芽が出る直前にいるかも知れない。そう思いながら歌い続けようではありませんか。

三多摩青年合唱団60周年、誠におめでとうございます。高い志と優れた音楽性を、これからも社会に示し続けてください。皆様のご活動に共鳴し、学びながら、私も何かの力になれたらと思っています。

「真実」「愛」そして「希望」

松下 耕(作曲家)

三多摩青年合唱団が60周年をお迎えになるとお聞きし、長きに渡り、素晴らしい成果をあげ続けてこれたその活動に、最大の敬意を表すと共に、心からお祝い申し上げます。

私は、2006年11月に行われた三多摩青年合唱団のコンサートに、組曲『信じる』を書かせていただき、指揮も担当させていただいたのですが、その時のことは、今でも忘れることができない、大切な思い出となっています。合唱団の皆さんは、私を温かく迎え入れてくださり、情熱的に組曲を歌い切っていただきました。皆さんの歌は、「真実」と「愛」に満ちていました。そのハーモニーの中に身を置いた私は、リハーサルの時も、本番でも、私は、胸の高まりを抑えることができませんでした。

私にとって忘れられない作品、組曲『信じる』

を、私の地元で活躍する三多摩青年合唱団の皆さんと作り上げることができたことは、何よりの光栄であり、喜びでした。

初演から20年近く経った今でも、この作品は多くの人たちに歌っていただいています。そして、三多摩青年合唱団の皆さんもまた、元気に、精力的な活動を続けていらっしゃいます。私は、これらの事実にも勇気づけられます。明日も前向きに生きよう、と思えます。

『すべてのものが日々新しい』(「信じる」歌詩)のような、希望に満ちた毎日とは程遠い日々が続いていますが、そんな世の中だからこそ、三多摩青年合唱団の皆様には、これからも私たちに「真実」「愛」「希望」を届けていただきたいと思います。100年を目指し、ますますのご発展を!

守屋博之(元関西合唱団指揮者)

うたごえ運動には昔、中心合唱団という存在があった。全国合唱団会議に所属しそれぞれの地方でうたごえを広める中心的な合唱団のことを言った。中央合唱団、関西合唱団、名古屋青年合唱団などだ。

三多摩青年合唱団(三青)もその一つなのだが、中央、関西などの本流?の私たちから見ると一味違う存在に見えた。が、その活動は三多摩全地域での「雨あがりコンサート」の実現や、ミュージカル「ヒステリータイムス」の創作・上演をはじめとする創造活動など、うたごえ運動のするべき本来の活

動をひとつひとつ実現しているまぶしい存在であった。

三青にはじめて伺ったのは、1972年の歌劇「沖繩」三多摩公演で私が指揮した時だったと思う。それ以来、指揮の勉強会や演奏会での客演指揮などで何回か行った。峯崎・島袋・塚野さん達には随分お世話になった。もう何十年も前の話だが。

その三青が創立60年になるとのこと。

今日までの充実した活動をもとに、さらに素晴らしい合唱団になることを信じています。

山田洋次(映画監督)

「三多摩青年合唱団」という名称を、遠い憧れのような思いを込めて聞くのはぼくの世代の人間なのかもしれません。

60年と云うのは長い歴史です。その間大変な苦勞を重ねて来られたに違いありません。

その合唱団の60年記念コンサートと聞いて胸がときめきます。

よかったな、よくここまで来られたな、そしてこれからももっと大きくなってほしい、三多摩の地区の市民たちの、力強く美しい平和の歌声を響かせ続けてほしい、と心から思います。

記念コンサートの成功を日本中の大勢のファンとともに祈っています。



故林光さんと故横井久美子さんから生前いただいたメッセージ

林光(作曲家)

私たち——三多摩青年合唱団と私——は、1976年3月から8ヶ月のあいだ、平均週1回ずつの練習をつづけ、ひとつのコンサートをひらいた。

それは、はじめて出会った、労働者の合唱団と、ひとりの作曲家が、短期間の、だが徹底した協働作業から、どれだけのことをひきだせるかという、試みだった。

練習のあいだじゅう、私たちは互いに教えるものであり、同時に教えられるものでもあった。「自由の木」以下7曲は、練習期間中に作曲した。1曲目が書きあがると、その週には練習にかけられ、その結果が、2曲目の作曲に生かされていった・・・」

(1976年の「愛・祖国・パン」のときに寄せてくれた林光さんのメッセージから抜粋)

横井久美子(歌手)

「私、今、このコンサートを前にしてコワイナアという心境なのです。何故って？私にとってテキは2つもあるのです。テキ1は「日本の知性」と心ひそかに思っていた林光さん。だから、もう、ドキドキです。

テキ2はもちろん合唱団。職場を持ち、その労働で食べ、その上さらに歌をうたうという、暮らしがまるごと歌になってとびだしてくるこのエネルギー。

例えば合唱団のけいこにでて、そこで「すべて

か無か」なんてゆう歌をきいていると、私なんかワーツと胸が熱くなって感動に浸るのです。ところがテキ1とテキ2はもっとかなたをみつめけいこを積んでいくので、私は恥じ、テキ1と2に心を許してはいけないと思うのです。

でも、おそろしいことが好きな私は、実は今、非常に幸福なのです」

(林光さんと横井久美子さんを迎えて行われた、1983年のあめあがりコンサート「人と天の歌」に寄せられたメッセージより)

三多摩青年合唱団の60年の歩み

- 1963 3月31日 団創立
- 1972 第1回三多摩「第九」演奏会 指揮: 外山雄三
- 1973 合唱構成「不知火」～団創立10周年記念音楽会～
- 1974 ミュージカル「ヒステリータイムズ」制作初演 翌年の再演含め全8公演
- 1976 「愛祖国 パン」公演 客演指揮: 林光 演出: 広渡常敏
- 1977 オペラ「カルメン」公演 客演指揮: 外山雄三 演出: 山田洋次
- 1981 たたかわなかつた兵士の話」団創立20周年記念制作 企画: 山田洋次 曲・客演指揮: 外山雄三
台本演出: 朝間義隆 「あめあがりコンサート」三多摩全26市5町1村公演開始、2年間で完了
- 1983 あめあがりコンサート」6公演、林光・横井久美子と共に
- 1985 カンタータ「みどりの炎」公演～被爆40年に～ 曲・客演指揮: 外山雄三
- 1989 「風雪」「五月の歌」公演 曲: 外山雄三・林光 客演指揮: 外山雄三
- 1993 団創立30周年記念、練習場完成記念招待演奏会 客演指揮: 外山雄三・守屋博之
- 1995 カンタータ「人類のあたらしい規則」制作公演～被爆50年に～ 曲: 外山雄三 客演指揮: 外山雄三
- 2001 組曲「砂川」演奏会 客演指揮: 栗山文昭
- 2004 「生命の木、空へ」団創立40周年記念音楽会 客演指揮: 林光
- 2005 組曲「ふるさと風の風」委嘱初演～被爆・終戦60周年記念 詩: 竹内浩三 曲: 寺嶋陸也
客演指揮: 寺嶋陸也
- 2006 組曲「信じる」委嘱初演 詩: 谷川俊太郎 曲: 松下耕 客演指揮: 松下耕
- 2007 「各駅停車」&「沖繩のスケッチ」41期研究生と合同公演
客演指揮: 高浪晋一
- 2008 「6月のぼら」コンサート～うたごえ60周年記念・うたごえと日本の作曲家たち～の一環～
客演指揮: 林光
- 2010 被爆 終戦65年音楽会 客演指揮: 栗山文昭
合唱オペラ「白墨の輪」曲: 林光 42期研究生と合同
- 2011 東日本大震災復興支援第1弾 栗友会合唱団と共に 客演指揮: 栗山文昭
- 2012 東日本大震災復興支援第2弾 海老名香葉子氏講演と合唱
東日本大震災復興支援第3弾 峯崎りみソプラノリサイタル (独唱と合唱)
- 2013 3月3日 団創立50周年レセプションを開催
東日本大震災復興支援第4弾 小出裕章氏講演と合唱
東日本大震災復興支援第5弾 43期研究生修了コンサート
- 2014 東日本大震災復興支援第6弾「ワクワク」委嘱初演 団創立40周年記念音楽会
客演指揮: 赤坂有紀 演出: しままなぶ
- 2015 東日本大震災復興支援第7弾「八月の願い」委嘱初演～被爆終戦70年の今～ 客演指揮: 赤坂有紀
- 2016 東日本大震災復興支援第8弾「人々は持つだろう」 客演指揮: 赤坂有紀
- 2017 東日本大震災復興支援第9弾「降りつむ」 指揮: 赤坂有紀
- 2018 東日本大震災復興支援第10弾「みるく世がやゆら」 指揮: 赤坂有紀
- 2019 東日本大震災復興支援第11弾「あれは風だったのですか」 指揮: 赤坂有紀
- 2022 東日本大震災復興支援第12弾「風の旅」 ドリアン助川: 詩 曲 客演指揮: 寺嶋陸也
- 2023 日本近代音楽館レクチャーコンサートシリーズXII 出演 指揮: 寺嶋陸也

出演者・スタッフ紹介



指揮
赤坂有紀 (あかさか ゆき)

宇都宮大学教育学部音楽科卒業、同大学院教育学研究科修了。声楽を石野健二氏、大島博氏に、指揮法を高階正光氏、今村能氏、森垣桂一氏に師事。1995年にはWorld Youth Choirメンバーに選出されカナダでのツアーに参加。現在は栗山文昭氏音楽監督・栗友会(りつゆうかい)に所属しながら、合唱指揮者、ヴォイス・アンサンブルトレーナー、また歌手としてソロリサイタルを開催し多数の歌曲を委嘱初演、1人オペラ公演等、多岐にわたり活動している。2008年Tokyo Cantat第1回「若い指揮者のための合唱指揮コンクール」にて第1位、ノルウェー大使館奨学金を受賞し、ノルウェーとオーストリアに招かれ短期滞在し合唱音楽について研鑽を積んだ。JCDA日本合唱指揮者協会会員。合唱人集団「音楽樹」会員。



作曲・ピアノ
寺嶋陸也 (てらしまり ちや)

東京藝術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。97年東京都現代美術館でのポンピドー・コレクション展開催記念サティ連続コンサート「伝統の変装」、03年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価され、06年にはタンブルウッド音楽祭に招かれボストン交響楽団のメンバーと自作を含む室内楽を演奏した。作曲、ピアノ、指揮など活動は多方面にわたる。オペラや合唱曲、室内楽、邦楽器のための曲など作品多数。三多摩青年合唱団とは、竹内浩三の詩による『ふるさとの風に』、ドリアン助川の詩による『風の旅』や『さくらんぼの実る頃』(混声版)の委嘱作品があるほか、指揮者、ピアニストとして何度も共演を重ねている。『大陸・半島・島/寺嶋陸也作品集』(ALCD9026)、『寺嶋陸也plays林光』(NARD5034)『寺嶋陸也ピアノリサイタル〜シューベルト3大ソナタを弾く〜』(NARC2129~30)など、多くのCDがある。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。



指揮
大塚雅仁 (おおつか まさと)

群馬県板倉町生まれ。千葉大学法経学部法学科、東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。武蔵野音楽大学別科声楽を修了。声楽を堀内康雄、多田羅迪夫、野本立人、大島博、指揮法を今村能、森垣桂一の各氏に師事。オペラでは『愛の妙薬』『椿姫』『トスカ』『こうもり』『仮面舞踏会』『フィガロの結婚』などに出演。ソリストとしてはフォーレ、池辺晋一郎、上田益『レクイエム』、ベートーヴェン『第九』『合唱幻想曲』、ヘンデル『メサイア』などのバリトンソロを務める。また、合唱指揮者 栗山文昭氏のもとで、様々な合唱の研鑽を積む。これまでに『第九』や『メサイア』などオーケストラとの作品の合唱指揮を数多く担当。室内合唱団『日唱』メンバー、認定NPO法人「朴の会」理事、一般社団法人音楽樹会員。故郷の「板倉町PR大使」。現在、三多摩青年合唱団、青梅うたごえサークル麦笛、板橋区混声合唱団など多数の合唱団において指揮者・ヴォイストレーナーとして関わっている。



指揮
佐藤伸行 (さとうのぶゆき)

岩手県盛岡市出身。東北大学在学中より歌手として様々な合唱団・アンサンブルで演奏・コンクール出場を行う。また合唱講習会、指揮法講習会を度々受講し研鑽を積む。上京後、CANTUS ANIMAEに所属し、雨森文也氏の元で合唱音楽を学ぶ。2014年には三青の50周年記念音楽会に特別団員として出演する。声楽を羽山晃生氏に師事。2021年第1回国際声楽コンクール東京にバス歌手として出場し愛好者Y部門1位入賞。現在はCANTUS ANIMAE、vocalconsort initium等で歌いながら、合唱指導者としても活動している。三多摩青年合唱団指揮者。



アコーディオン・構成・ナビゲーター

岡原真弓(おかはらまゆみ)

大阪芸術大学演奏学科声楽専攻卒業。大阪でアムジューズミュージックオフィスにて歌のお姉さん的な活動や、北部青年合唱団など、うたごえの合唱団のヴォイストレーナーなどをしていた。87年に、京都でオペラシアターこんにやく座の舞台に出会い88年入座。それ以来、森は生きているのおっかさん、セロ弾きのゴーシュの楽長、夏の夜の夢のタイテーニア、どんぐりと山猫の山猫、ピノッキオのキツネ、さよならドン・キホーテのオードリー先生など、座の数多くのオペラに出演。最近では、こんにやく座のオペラ塾、キラリ☆ふじみ歌劇団、埼玉ゴールドシアター、名古屋ソングの会などのワークショップや演出も行っている。三多摩青年合唱団とは座の宣伝の為に伺ったことから仲良くさせてもらい、2019年のあめあがりコンサートでは林光のステージの演出をさせて頂いた。父親は関西合唱団初代団長岡原進。



編曲

竹内一樹(たけうちかずき)

1983年東京生まれ。作曲家。作曲を吉岡弘行、佐藤真、寺嶋陸也の各氏に学ぶ。合唱、歌曲、舞台作品など言葉を伴う音楽を中心に作曲、編曲活動を展開する。オペラ「Love Letter」「Best Present」「北斎」。山梨県昌福寺においてシアターピース「プレイ・スペース」等の作品を2017年から現在まで作曲で関わる。舞台音楽「鶴」「青い鳥」「工場」「夜景には写らない」、香港のアカペラグループ「Yat Po Singers」に「時代狂唱」が取り上げられる他、香港児童合唱団創団50周年記念作曲コンペティションに作品が選出される。2020年オペラ「咲く」が文化庁委託事業「オペラ創作人材育成事業」の選出作品となり、2022年日本オペラ協会にて公演された。音楽之友社から「日本のオペラ・アリア選集」(監修:郡愛子)が発売され、オペラ「咲く」から「私の輪郭」が収められている。2021年、2022年には竹内一樹作品演奏会「音と声と言葉と踊り」(主催:蛍光資料)を催す。混声合唱サリール、コール・リー、合唱団ひまわり指揮者、東京パラライカ・アンサンブル副指揮者。ホームページ:<https://www.kazukitakeuchi.net/>



ピアノ

笹 有理子(ささゆりこ)

東京芸術大学卒。同期フルートの鈴木千代氏とデュオ“アミューズ”を結成、11回に亘りリサイタルを開催。多摩六都フレッシュコンサート第4回、第6回オーディションに合格。同コンサート第十回記念特別演奏者に選ばれる。77年、カザフスタン共和国、'99年、ロシアで開催された「日本文化週間」にピアニストとして同行。府中の森芸術劇場にてベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を、紀尾井ホールにて J・S バッハの2台のピアノのための協奏曲ハ短調 BWV1062をオーケストラと共演。'09年NHK-FM 名曲リサイタルにトランペット、バストロンボーンとのトリオで出演。森静、和久菜々穂、須貝久子、故林美奈子、坪田昭三の各氏に師事。



ピアノ

峯崎道子(みねざきみちこ)

国立音楽大学音楽学部器楽学科(ピアノ専攻)卒業。ピアノを有賀恵、助川陽子、伴奏法を金井信の各氏に師事。在学中、第11回ピアノ教育連盟オーディションにおいて奨励賞受賞。卒業後、大学院歌曲クラスや様々なコンクールにて伴奏ピアニストを務める。現在、声楽、合唱の伴奏やピアノ指導等幅広く活動している。



教育者・ヴォイストレーナー

峯崎りみ(みねざきりみ)

声楽を故東敦子・故小野光子・保多由子氏に 指揮を高浪晋一氏に師事。1995年、故井上頼豊(チェリスト)・故小野光子(声楽家)・故外山雄三(指揮者)・守屋博之(合唱指揮者)氏等のよびかけで「峯崎りみ後援会」が発足。この間、数回のリサイタルや「峯崎りみ歌のタベ」シリーズの企画をはじめ、大小様々な演奏会に出演している他、カザフスタン共和国やノヴォシヴィルスクでの「日本文化週間」にも招かれて演奏している。現在6つの合唱団の指揮の他、声楽教室「COLORE」を主宰し、後進の育成に携わっている。現代声楽教育研究会・ロシア歌曲研究会・日ロ音楽家協会会員・三多摩青年合唱団教育者及びヴォイストレーナー



合唱 三多摩青年合唱団



1963年創立。多摩地域でうたごえ運動の一翼を担い様々な演奏活動を展開している。

1978年より音楽会の名称を「あめあがりコンサート」とし現在に至る。近年では新作委嘱に意欲的に取り組み、2005年に竹内浩三詩、寺嶋陸也曲の組曲「ふるさとの風に」（2010年の「骨の歌う」を加え完結）を、2006年には谷川俊太郎詩、松下耕曲の組曲「信じる」を、それぞれ作曲家を招いて委嘱初演する。2011年、栗山文昭氏と栗友会合唱団を招き開催したコンサート以来、東日本大震災復興支援コンサートとして取り組む一方、岩手県宮古市や福島県いわき市を訪問し、仮設住宅でのうたう会や平和のつどいでの演奏などを行ってきた。2014年、団創立50周年記念音楽会を震災復興支援コンサートとして開催し、谷川俊太郎詩、信長貴富曲の6つのソング「ワクワク」を客演指揮に赤坂有紀氏、演出にしままなぶ氏を招き委嘱初演し好評を博した。

コロナ禍による演奏会中止が続いたが2022年に3年ぶりとなる演奏会を開催。ドリアン助川詩、寺嶋陸也曲による混声合唱とピアノのためのカンタータ「風の旅」を委嘱初演した。

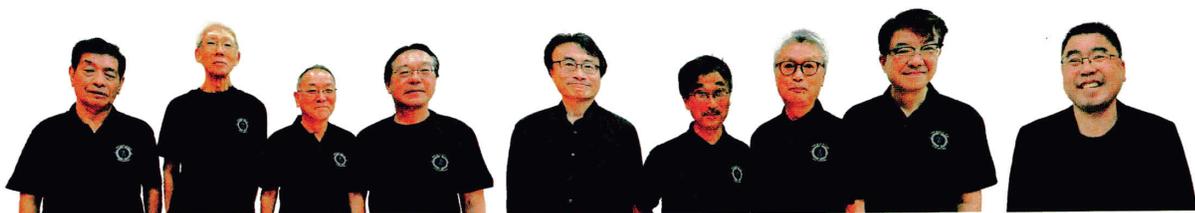
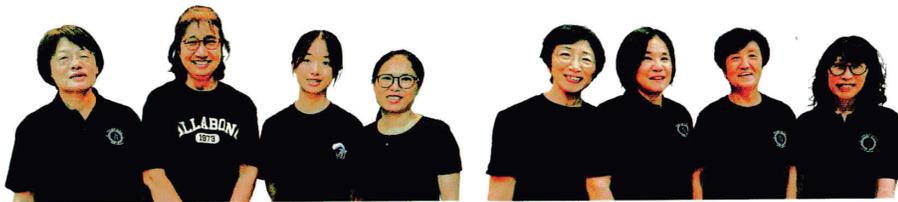
予告!

2025年10月25日(土) パルテノン多摩大ホール

絹の道合唱団・三多摩青年合唱団 合同音楽会開催

三多摩青年合唱団 団員

ソプラノ	——	浅川 薫	石関 睦美	泉 和代子	今井 育子	上村 明子	楠木 規子	近藤チエイ
		高杉 敏江	箱崎 陽子	林 真由美	比留間あゆみ	峯崎 りみ	結城 香澄	黄 暁薇
		鄭 清原						
	特別団員	河村 光子						
アルト	——	北山 幸子	小菅 則子	小林 昭子	斎藤 康子	坂本 尚子	椎野 智子	高杉 敦子
		竹澤 まみ	塚野三津子	中村 緑	藤森 美穂	三浦 鈴子		
	特別団員	宮崎 志保						
テナー	——	今井 和之	木村 洋	草野 裕之	須藤 久	高杉 昌雄	三浦 明夫	結城 朝三
	特別団員	倉本 至	東深沢 茂					
バス	——	小林 信一	小林 光	須崎 英	津川 正洋	箱崎 作次	平野 治	深堀 慶一
	特別団員	井出 重明	小林 康弘					



さんゆう会

ソプラノ—— 朝海 牧子 今井 治江 入田 純子 河村 光子 小坂富美子 山田 里美
 吉野 順子 鷺元 一美
 アルト—— 猪俣真紀子 宇佐美真梨 大島美奈子 清水 敏子 三上 信子
 テナー—— 上原 剛 猪又 喜雄 入田 元人 大島 啓典 鈴木 重良 東深沢 茂 藤森 義博
 バス—— 小関 勝 小林 康弘 近藤 明 斎藤 昭美 塚野 尤次



創立60周年記念音楽会 特別団員

ソプラノ—— 阿部江里子 丑山久美子 神山 友子 川木 雅樹 河村 光子 小島 幸子 佐藤 香織
 杉田 良子 島田 京子 大道寺明美 竹村 宣子 田中 花実 配野 純子
 アルト—— 相澤 結香 加我美代子 片寄 由美 川口 雅恵 斎藤まゆみ 中村 孝枝 早通 理恵
 水谷 文 宮崎 志保 安田 牧子 安並 真智
 テナー—— 内田 一哉 倉本 至 清水 郁雄 田中 健夫
 バス—— 小関 勝 小林 光



賛助出演

麻山 皓太 大塚 雅仁 佐藤 伸行



* 祝 三多摩青年合唱団 創立60周年記念音楽会*

絹の道合唱団

公募団員募集中

毎月の“NO WAR!
八王子アクション”(集会)で
開始前演奏をしています

練習: 第1, 3土曜, 第2, 4日曜
練習場所: JR 豊田駅・国分寺駅周辺
連絡先: 片山 090-4272-0210

mimi8349@ozzio.jp

福島応援 On Song

歌と言葉で福島を応援します
毎月 11日 14時~15時

フォーリス府中前にて活動中
一緒に歌いましょう

祝 三多摩青年合唱団
あめあがりコンサート2024



合唱団あすをひらく風

毎月: 第1・3水曜日 19時00分~21時00分
場所: 立川市高松学習館 視聴覚室 月額2,500円
(6月・12月は3,500円)

指揮: 入田 元人
ピアノ: 戸梶 江吏子 『職場と地域を結ぶ』

けやき平和コンサート

2024 12/13(金)午後2時開演
バルトホール プラッツ内5F
主催: けやき平和コンサートの会
後援: 府中市 府中合唱連盟
事務局: 府中市新町2-68-20

三多摩青年合唱団

『創立60周年記念音楽会 自由の木』
♪開催おめでとうございます♪

広島合唱団

<https://hiroshima-gassyodan.com/>

泣き寝入り なんかしない
困ったら…八王子労働相談センターへ

八王子労働組合総連合

住所 八王子市追分町6-14
電話: 042-623-8046
Eメール: hachiroren@mb.e.nifty.com

祝 三多摩青年合唱団
60周年記念音楽会

平和を 命を 高らかに歌おう
国鉄かあさん合唱団つゆ草
団長 千代村優子



愛と平和の女性コーラス

むらさき式部

♪職場の仲間とともに歌い続けて35年

祝 三多摩青年合唱団 創立60周年

『自由の木』

No WAR!! 戦争は絶対に通さない

カッパズ
国鉄広島

特定非営利活動法人

わの会

ディサービス
りんりん(通所介護): 042-361-6001
ヘルパーステーション
あいあい(訪問介護): 042-336-7445
研修事業 042-360-3626

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪
音を楽しみたい方に
リオネット補聴器をおススメします

JMITU リオン支部
 東京都国分寺市東元町3-20-41
 ☒メール: jmiurion@gmail.com

お気軽にご相談下さい
八王子合同法律事務所

〒192-0046 東京都八王子市明神町4-7-14
 八王子ONビル 8F
 TEL 042-645-5151
 FAX 042-645-5236

イタリア語教室 Cellini (チェッリーニ)

★イタリア人講師が丁寧に指導しています。
 ★初心者から上級者まで随時受け付けております。
 ★語学とイタリア家庭料理などの講座多数開講。
 ★この広告をご覧になり2025年中にご入学の方、4000円割引。
 〒186-0002 国立市東1-14-20-306 (国立教室)



TEL 042-513-4480
 メール info@scuolacellini.com
 ホームページは www.scuolacellini.com



9条改憲はNO! 最賃アップYES!

ブラックな働かせられ方や組合作りの
ご相談は立川労連へ

国国立・立川・昭島地域労働組合総連合
 電話 042-521-3441
 Eメール tachikawaroren@hb.tp1.jp

「市民と野党の共同・共闘」を
 各地域でさらに進め
 自民党政治を終わらせましょう!

三多摩革新懇

(平和・民主・革新の日本をめざす三多摩の会)
 連絡先 090-4929-8994 (星)

あめあがりコンサート開催おめでとう!

「困った!!」時に
 頼れる
確かな労働組合



@JMITU1

『見える』組合活動発信中!



立川相互ふれあいクリニック

TEL 042-524-1371 (代表)

立川相互病院

(TEL 042-525-2585) 代表

子ども診療所

(TEL 042-525-6555)

健生会

ふれあい相互病院

(TEL 042-512-8720) 代表

相互歯科

(TEL 042-525-6480) 代表

三多摩労連



**中小企業への支援セットで
 全国一律最賃1,500円を!**

(三多摩地区労働組合協議会)

〒190-0012 立川市曙町1-19-2

電話: 042-523-3300 FAX: 042-523-3320

祝 三多摩青年合唱団 60周年
 貸し会議室・貸しホール・貸し教室
スペースコウヨウ

会議や合唱練習にお使ください



JR 中央線国立駅南口より徒歩4分
 国立市中 1-15-2
 TEL 042-572-0900

スペースコウヨウ 検索

NPO法人 在宅ケアを支えあう会
訪問看護 ほっとステーション
 看護師募集 時間給: 2100円
 一緒に働いてみませんか
 一味違う 訪問看護

国立市谷保4-27-32
 TEL: 042-574-0932

さんゆう会

会員募集

三青・研究生OB、OGのみなさん！
なつかしい仲間と交流しましょう！

事業 交流会（例会）・会報／年2回
年会費 3,000円（夫婦で5,000円）

祝 三多摩青年合唱団60周年音楽会



ジョイントコンサート 平尾合奏団
いるそら！合唱団・青い松合唱団(光州)

2024年11/15(金) 開演16:00 江東区文化センター

～平和憲法を守り、生かしましょう～

三多摩法律事務所

電話 042-524-4321 

(代表弁護士吉田健一・第二東京弁護士会所属)
【所在地】立川市緑町4-4 立川北口薬局ビル4階
■法律相談…電話予約制/1回(60分まで)5,500円

銃口を住民に向けた訓練を許すな！ 

CV22オスプレイの配備撤回！
辺野古埋め立てを即時中止せよ！

横田基地の本格的な戦争推進基地化反対！
横田基地座り込み16年目に突入

毎月第3日曜日 座り込み行動実施
13:30～15:30 16号沿いフレンドシップパーク
横田基地撤去を求める西多摩の会

団創立60周年おめでとうございます



東京土建一般労働組合

西多摩支部

女性の会

憲法といのち守り、誰もが安心して
住み続けられるまちづくりを止めよう！

三多摩健康友の会



〒190-0022 立川市錦町1-17-15 錦町薬局2F
Tel 042-523-2377 Fax 042-523-2378
Email kensei2378@lime.ocn.ne.jp

祝 三多摩青年合唱団60周年
国立のうたごえ喫茶ご案内

「さんたま屋」・・・毎月第2水曜日
「もも&はると歌おう」・・・毎月第3水曜日
「PeaceSong」・・・毎月第4水曜日
「特別 Version うたう会」・・・毎月第5水曜日がある月

場所：くにたちさんせいホール 開始時間 13時より
JR 中央線国立駅南口より徒歩4分
国立市中 1-15-2 TEL 090-3045-2806 小田克彦
<https://okkun.net/kunitachi/>



オペラシアター こんにゃく座

OPERA THEATER KONNYAKUZA

新しい日本オペラを創造し、
全国を旅するオペラ団
神奈川県川崎市多摩区宿河原7-14-1
<https://www.konnyakuza.com>

東京土建一般労働組合 西多摩支部



建設従事者なら誰でも入れる建設労働組合 **10万人が加盟**
「どこに工事を頼めば良いのかわからない」 **東京土建に相談を！**

☎ 042-555-5221
〒 205-0001 東京都羽村市小作台5-21-6
🌐 <https://www.hokosugi.jp/index.html>



素晴らしい
舞台との出会いを!!

三多摩演劇をみる会は、会員制で非営利の
演劇鑑賞会です。
年6回演劇を楽しみ、心豊かな生活を!!

三多摩演劇をみる会
〒190-0022 立川市錦町2-3-31
Tel.042-523-5031 Fax 042-524-4315



あなたのかかりつけ薬局

㈱ 地域保健企画

薬剤師募集中(常勤・パート) 立川市錦町1-17-15 Tel.042-525-9636

多摩薬局(立川市) 042-528-6100 えのき薬局(武蔵村山市) 042-590-5600
ふくしま薬局(昭島市) 042-545-6361 本町薬局(小金井市) 042-383-3515
みどりヶ丘薬局(羽村市) 042-570-7838 蓮雀通り薬局(三鷹市) 042-270-6326



Modern Ballet
～3歳から大人まで～



外部の方へ舞踏コンクール等の
振り付けもしております
ほかの分野を専門とされている方や
未経験者でも作品振り付け・個人・
団体レッスン等々…まずはご相談下さい
モダンバレエFleur(フルール)東京都文京区
バレエStella Nova(ステラノヴァ)埼玉県所沢市
講師:村田恵 Tel.080-5547-1683



あなたのかかりつけ薬局

㈱ 地域保健企画

薬剤師募集中(常勤・パート) 立川市錦町1-17-15 Tel.042-525-9636

多摩薬局(立川市) 042-528-6100 えのき薬局(武蔵村山市) 042-590-5600
ふくしま薬局(昭島市) 042-545-6361 本町薬局(小金井市) 042-383-3515
みどりヶ丘薬局(羽村市) 042-570-7838 蓮雀通り薬局(三鷹市) 042-270-6326



Biltech(バレッチ)

バレエをベースとした
有酸素運動&ストレッチ



Beauty 5(サークルビューティー5)

木曜日 不定期 20:15-21:30

月2回5週月は3回

住友金属アリーナ―青梅(旧青梅総合体育館)

連絡先:中村 090-4074-1614

心地よい汗を流してカラダすっきり 講師+:村田恵

《音楽の贈りもの》主催(羽村市教育委員会後援)

チャリティコンサート希望への架け橋Vol.24

2025.3.9(日)13:30開演(13:00開場)

羽村市生涯学習センター プリモホールゆとろぎ大ホール

オクサーナ・ステパニユックさんをゲストに

地元の音楽家たちの演奏あれこれ盛りだくさん♪

【全席自由】2000円 中里:090-4757-8640

人に優しく、住まいに優しい塗装工事

株式会社 成和建装

一般建築吹付・塗装・防水工事

〒027-0031 東京都東大和市奈良橋4-594-5

Tel.:042-583-8695 Fax:042-563-794

お気軽にお問い合わせください



団員募集!!

私たちと一緒に歌いませんか?

練習日 毎週水曜日と土曜日の夜

練習会場 国立市北市民プラザ 他

団費 6000円/月

連絡先

木村洋 090-4233-5537

竹澤まみ 080-6612-2113 三青への入団は

いつでもできます。